

トカプチの風

令和6年4月1日発行 第2号

部活動における適切な指導の実施について

中学校学習指導要領総則第5「学校運営上の留意点」において、部活動は、異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、教育的意義が高いものと示されています。

【現状】

小・中学校及び高等学校の児童生徒が、部活動に求めるものとして、最も多く挙げたのは、「仲間とのよい人間関係を作ること」です。

次いで、「人間として成長し、自信をもてるようになること」や「体力や技能を向上させること」が挙げられています。

【1】部活動に求めるもの（2つまでの複数回答）

・高校生のみ「高校の部活動に求めるもの」、他は「中学校の部活動に求めるもの」

	小学5・6年生			小学校保護者			中学生			中学校保護者			高校生		
	回答数	割合	順位	回答数	割合	順位	回答数	割合	順位	回答数	割合	順位	回答数	割合	順位
大会やコンクールなどでよい成績をとること	434	22.5%	5	208	7.8%	6	961	31.7%	4	344	8.7%	5	2,247	30.5%	3
体力や技能などを向上させること	729	37.8%	2	786	29.5%	3	1,231	40.6%	2	1,221	30.9%	3	2,041	27.7%	4
人間として成長し、自信をもてるようになること	597	30.9%	3	1,754	65.8%	1	1,006	33.2%	3	2,635	66.7%	1	3,049	41.4%	2
仲間とのよい人間関係を作ること	949	49.1%	1	1,515	56.9%	2	1,358	44.8%	1	2,203	55.8%	2	3,567	48.4%	1

【部活動の地域移行に関するアンケート調査】

【課題】

部活動に対する生徒の願いに応え、人間関係の構築や自己肯定感の醸成等に資する部活動を実施する必要があります。

課題解決の方策



学校の活動方針及び指導

説明・改善 ← 共有 → 希望・理解

生徒及び保護者のニーズ

キーワードは、「ミスマッチの防止」

説明・理解 適切な運営・体制整備

- ・学校の部活動に係る活動方針の公表や部活動に係る相談・要望の窓口の設置等を通して、活動内容について、生徒及び保護者から、十分な理解を得ること

説明・改善 部活動顧問と生徒の信頼関係づくり

- ・指導の目的、技能等の向上や生徒の心身の成長のために適切な指導の内容や方法であること等を、生徒に明確に伝え、理解させた上で取り組ませること

希望・改善 生徒のニーズを踏まえた環境の整備

- ・得意不得意に関わらず生徒が参加しやすいよう、スポーツ・文化芸術等に親しむことや、個別の課題や挑戦を大切にすること

改善・理解 部活動内の生徒間の人間関係形成、リーダー育成等の集団づくり

- ・生徒のリーダー的な資質・能力の育成とともに、協調性、責任感の涵養等の望ましい人間関係や人権感覚の育成、生徒への目配り等による適切な集団づくりに留意すること

体罰・ハラスメントの根絶に向けた校内研修の充実

肉体的・精神的な負荷を課すこと、言葉や態度による脅し、威圧・威嚇的な言動、セクシャルハラスメント等は、いかなる場合にも決して許されません。

【参考資料】

・部活動の地域以降に関するアンケート調査



・運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン



・道立学校に係る部活動の方針



・学校における体育活動中の事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶について

